

環境にやさしい電力の調達 エネルギーの地産地消を

松本 マキ (マキおこせ! 市民力)



問 都は、昨年度から総合評価落札方式により、価格ではなく環境に配慮した業者から電力を調達しています。本市でも導入できませんか。秩父市では、市が95%出資した新秩父電力株式会社が家庭等から余剰電力を買い取り、小売電気事業を行っています。多摩市では、自前の発電システムを持つ民間の地域電力会社が公共施設等に売電しています。電力業者のノウハウは特殊なため、秩父市や多摩市と連携して、地域電力に取り組む考えはありますか。

答 総合評価落札方式については、発注者側の恣意性が働くことが懸念されるという入札等監視委員会からの指摘もあり、現時点では導入の考えはありません。また地域電力については、収益性や地域での需給バランスなどの課題があると言われており、現在、他市の地域電力会社等との提携は検討していません。国の動向や、さまざまな地域での取り組みなども注視しながら、引き続き研究していきたい。

一般質問項目

①環境に優しく地域も活性化するエネルギー政策について ②夢ふくらむ東京2020オリンピック・パラリンピックについて

介護の人材不足 さまざまな取り組みで確保を

若木 早苗 (日本共産党)



問 介護職の具体的な人材確保に向けて踏み出したことは評価しますが、人材不足は深刻になる一方です。介護人材やサービスの確保について、さらなる対策が必要ですが、どのように考えていますか。人材確保策を、次期介護保険事業計画に盛り込む考えはありますか。処遇改善につなげるために、モデル給料の表示や住宅の家賃補助、若手介護職の研修、交流等について、各地で対策がなされており、市も次期計画に明記すべきです。

答 介護人材の確保については、令和2年度の当初予算に計上した介護職員初任者研修補助制度を活用して、積極的に取り組みます。介護人材の確保・育成事業の支援については、次期事業計画でも重要な施策として盛り込みたいと考えており、介護保険運営協議会の中で検討していきたい。また、介護職の給与や家賃補助等に関する処遇改善については、都と連携を図りながら、引き続き国に要望していきます。

文書質問項目

①高齢者が安心して暮らせるために ②PFOS・PFOA・有機フッ素化合物の地下水汚染について ③子どもたちが安心して通える学校の体制について



ヒアリンググループ (磁気ループ)

難聴者等の聞こえを支援する設備。床等に敷設したループアンテナに電気信号を送り、磁気コイル付き補聴器等で音声信号として聞くことができる。

暮らしの保健室

地域の方々が暮らしや、医療、介護等について、看護師等の医療や介護の専門職に予約なしで相談できる事業。本市では、高齢化率の高い集合住宅等に出向いて行っている。

選挙コンシェルジュ

若い世代の選挙への関心を高め、投票率の向上につなげることを目的として、啓発活動を行う高校生や大学生等のこと。団体によって名称は異なる。

補聴器購入費補助制度 創設の検討を

永元 須摩子 (日本共産党)



問 これまでも議会の中で、高齢者の補聴器購入費の補助について質問がされてきましたが、その後の状況はどうなっているのか。都は、区市町村が補助を実施する場合は、高齢社会対策区市町村包括補助事業を使って支援していくと述べています。中途難聴者、高齢者への聞こえのバリアフリーとして、補聴器を購入しやすくするために、都の補助金等を活用した65歳以上の方向けの購入補助制度の創設について、見解をお示しください。

答 補聴器については、令和2年度に地域包括支援センターが各圏域で取り組む介護予防教室の中で、正しく使うための普及啓発を行う予定です。また、難聴の方にも参加しやすい取り組みを積極的に行うことが大切と考え、市が行う事業では、聞こえを助けるヒアリンググループを活用していくなど環境を整備していきます。補聴器購入の補助制度については、他の自治体の動向や状況等を注視していきたい。

文書質問項目

①子育て世帯への支援策について ②高齢者への支援策について ③地域への支援策について

公共施設の老朽化 危険箇所や不具合への対応は

中山 ひと美 (たちかわ自民党・安進会)



問 議会が開催した市民との意見交換会で、校舎の雨漏りや、さびによる非常階段の使用中止などの現状を聞きました。市は、小・中学校の不具合をどのように把握し対応しているのですか。現場で状況を聞き取り、確認し実態を正しく把握することが必要です。また、公共施設再編個別計画で対象になっている二中・三中・五中圏域でも、老朽化を踏まえて個別案件ごとに建て替えと改修に早急に取り組むべきと考えますが、見解を。

答 学校施設は、学校施設日常点検マニュアルに基づき、日常的に異常の有無を確認しているほか、年2回提出される建物の部位や設備ごとの点検結果を状況の把握、修繕等に役立てています。校舎の雨漏りや非常階段の不具合も把握しており、順次対応を行っています。また、施設の建て替え等の方向性は令和5年度までに示す予定でしたが、施設の老朽化を踏まえ、令和2年度中に整備計画を策定していきます。

文書質問項目

①教育行政について ②市内建築物の安全管理について

根川緑道の清流 清流の水の確保を

浅川 修一 (日本共産党)



問 根川の清流は、錦町の下水処理場の高度処理水を利用してきたが、下水道の流域編入により処理水が利用できなくなります。根川は、まるで自然の川のように流れていて、四季折々市民だけでなく他市からも多くの方が訪れる憩いの場となっています。環境保全、生物多様性の先駆けという重要な役割・意義も持っています。これまで根川の清流確保にかかった事業費や運営費はいくらになるのか。清流の確保について、今後の見通しを伺います。

答 根川緑道は、下水の高度処理水を用いて、自然環境の保全と再生を図った事業効果の高い施設と考えています。子どもたちの水辺の遊び場や自然観察の場、休日には多くの方が訪れる憩いの場として貴重な資源でもあります。下水の高度処理施設建設費が約9億6千万円、運営費の累計で約9億4千万円かかっています。せせらぎ水の確保については、今後検討結果をまとめ、水の供給方法を決定していきたい。

文書質問項目

①根川の清流確保について ②台風・豪雨などによる都市型災害対策について ③下水道事業について

介護サービスの向上 課題認識とその対応策は

松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)



問 日本は、2016年のデータで65歳以上の人口が27.3%となっており、世界の中でも超高齢化が進んでいます。介護は、生活の質の向上を目的としています。本市における介護の認識や、取り組みの現状を伺います。また、介護サービスの質の向上に、どのように取り組んでいくのですか。現在、介護人材不足で、介護や支援が十分届かない状況があります。仕事内容に見合った処遇となるよう改善し、働き甲斐のある職場づくりを国や都に要請すべきです。

答 多様化するニーズへの対応からサービスが複雑化しており、高齢者が自らの選択に基づいて、利用することが難しくなっていることが課題と認識しています。利用者の相談に対応し、適切なサービスが利用できるように、専門的知識や技術を持った介護支援専門員によるケアマネジメントが重要と考えており、介護支援専門員への研修や連絡会等を通じて、ケアマネジメントの質の向上を図っていきます。

文書質問項目

①福祉施策について ②交通安全について ③富士見町周辺について